

日本農業気象学会 2009 年度総会 議事要旨

日 時：2009 年 3 月 25 日（水）16:00～18:00

場 所：郡山市民交流プラザ大会議室（福島県郡山市駅前 2-11-1 ビッグアイ 7 階）

開 会

会長挨拶

議長に 今 久 支部長（関東支部）を選出

1. 2008 年度活動報告

1.1 事務・事業報告（総会資料 2～7 ページ参照） - 報告通り承認された。

この際、日本農学賞候補者の推薦にあたり、学会賞審査委員会における審査を実施しなかったことに関して質問があり、理事会での審査とすることに既に変更されていたためである旨の説明がなされた。

1.2 2008 年度一般会計決算報告（総会資料 8 ページ参照） - 報告通り承認された。

この際、日本農業工学会費が支出されていないことについて質問があり、2008 年度内に請求がなかったことによるものであるとの説明がなされた。

1.3 会計監査報告（総会資料 9 ページ参照）

1.4 2009-2010 年度役員選出状況（総会資料 10 ページ参照） - 会長、副会長、監査、学会賞審査委員長他、報告通り承認された。

2. 審議事項

2.1 2008 年度剰余金処分（総会資料 11 ページ参照） - 提案通り承認された。

2.2 2009 年度事業計画（総会資料 12～14 ページ参照） - 提案通り承認された。

2.3 2009 年度一般会計予算（総会資料 15 ページ参照） - 提案通り承認された。

2.4 日本農業気象学会会則改正

2.4.1 ポスドク会員の導入，購読会員定義，および海外特別会員推薦方法に関する会則（第 4 章 会員）改正（総会資料 16 ページ参照）

- 提案通り承認された。

この際、ポスドク会員という名称と定義に関し質問があった。

2.4.2 ポスドク会員導入に伴う会則（第 4 章 会員 第 10 条）改正（総会資料 17 ページ参照）

- 提案通り承認された。

2.4.3 特別委員会委員長に関する会則（第 8 章 委員会 第 22 条）改正（総会資料 17 ページ参照）

- 提案通り承認された。

2.4.4 施行期日に関する会則（第 10 章 付則 第 27 条）改正（総会資料 18 ページ参照）

- 提案通り承認された。

議長を解任

3. 2008 年度各賞の授与式および記念講演

学会賞表彰

学会賞（学術賞） 鮫島良次 会員

学会賞（普及賞） 菅野洋光 会員

学会賞（論文賞） 間野正美 会員

学会賞（奨励賞） 石川大太郎 会員

学会賞受賞記念講演

鮫島良次 会員

菅野洋光 会員

閉 会

日本農業気象学会 2009 年度 総会資料

日時：2009 年 3 月 25 日（水）16:00～18:00

場所：郡山市民交流プラザ大会議室（ビッグアイ 7 階）

福島県郡山市駅前 2-11-1

2008 年度 事業年度：2008 年 4 月 1 日～2008 年 12 月 31 日

会計年度：2008 年 3 月 1 日～2008 年 12 月 31 日

2009 年度 事業年度：2009 年 1 月 1 日～2009 年 12 月 31 日

会計年度：2009 年 1 月 1 日～2009 年 12 月 31 日

日本農業気象学会 2009 年度総会 議事次第

開 会

会長挨拶

議長選出

1. 2008 年度活動報告

1.1 事務・事業報告（案）

1.1.1 役員等の交代	2
1.1.2 会員数の動向	2
1.1.3 理事会・委員会等の開催	2
1.1.4 各種事業の推進	2
1.1.5 編集委員会活動報告	4
1.1.6 学会賞審査委員会報告	4
1.1.7 永年功労会員表彰審査委員会報告	4
1.1.8 特別委員会等の設置および活動	5
1.1.9 関連学協会委員	5
1.1.10 支部活動報告	6
1.1.11 研究部会活動報告	7

1.2 2008 年度一般会計決算報告（案）	8
------------------------	-------	---

1.3 会計監査報告	9
------------	-------	---

— 2008 年度事業報告・一般会計決算報告（案）の承認 —

1.4 2009-2010 年度役員選出状況	10
------------------------	-------	----

2. 審議事項

2.1 2008 年度剰余金処分（案）	11
---------------------	-------	----

— 2008 年度剰余金処分（案）の承認 —

2.2 2009 年度事業計画（案）	12
--------------------	-------	----

— 2009 年度事業計画（案）の承認 —

2.3 2009 年度一般会計予算（案）	15
----------------------	-------	----

— 2009 年度一般会計予算（案）の承認 —

2.4 日本農業気象学会会則改正（案）

2.4.1 ポスドク会員の導入，購読会員定義，および海外特別会員推薦方法に関する会則（第 4 章 会員）改正（案）	16
---	-------	----

— ポスドク会員の導入，購読会員定義，および海外特別会員推薦方法に関する会則（第 4 章 会員）改正（案）の承認 —

2.4.2 ポスドク会員導入に伴う会則（第 4 章 会員 第 10 条）改正（案）	17
---	-------	----

— ポスドク会員導入に伴う会則（第 4 章 会員 第 10 条）改正（案）の承認 —

2.4.3 特別委員会委員長に関する会則（第 8 章 委員会 第 22 条）改正（案）	17
---	-------	----

— 特別委員会委員長に関する会則（第 8 章 委員会 第 22 条）改正（案）の承認 —

2.4.4 施行期日に関する会則（第 10 章 付則 第 27 条）改正（案）	18
---	-------	----

— 施行期日に関する会則（第 10 章 付則 第 27 条）改正（案）の承認 —

議長解任

3. 2008 年度各賞の授与式および記念講演

学術賞，普及賞，論文賞，奨励賞表彰

閉 会

1. 2008 年度活動報告

1.1 事務・事業報告

1.1.1 役員等の交代

- 1) 学会賞審査委員長に互選で早川誠而会員が就任

1.1.2 会員数の動向（2008 年 12 月 31 日現在）

正会員	565 (内外国 6)	(- 66)
シルバー会員	11	(+11)
学生会員	53 (内外国 1)	(- 8)
購読会員	124 (内外国 3)	(- 11)
賛助会員	32	(- 4)
名誉会員	6	(+1)
海外特別会員	72	(+15)
合計	863	(- 62)

() 内は、(2008 年 1 月 31 日時点と比較した) 増減数です。

1.1.3 理事会・委員会等の開催

- 1) 理事会：2008 年 6 月 9 日，10 月 3 日，12 月 12 日に東京大学農学部で開催
- 2) 編集委員会：(別項「活動報告」の通り)
- 3) 学会賞審査委員会：(別項「学会賞審査委員会報告」の通り)
- 4) 永年功労会員表彰審査委員会：(別項「永年功労会員表彰審査委員会報告」の通り)
- 5) シンポジウムの開催：日本農業気象学会シンポジウムの開催（関東支部 2008 年度例会との合同集会として開催），2008 年 11 月 6 日～7 日，文部科学省研究交流センター（つくば市），参加者 66 名。
- 6) 会員意見交換会の開催：「学会名称に関する会員意見交換会」開催，2008 年 11 月 5 日，文部科学省研究交流センター（つくば市），参加者 14 名

1.1.4 各種事業の推進

- 1) 財政健全化，事務の簡素化などの推進

- (1) 編集経費および会員管理業務等経費の節減のための最重要課題であった，学会業務（出版・編集を含む）委託費用削減に向けた交渉を委託先と行い，2009 年度業務委託費の大幅削減を実現
- (2) 会員数維持のための方策の検討を開始し，学生会員に関するアンケートを実施
- (3) 会員サービスとしてのメーリングリストを利用した事務連絡等の実施
- (4) ポストク会員制の導入を検討（会費 4000 円）
- (5) ホームページの管理業務を，外部委託する方式からホームページ担当委員会が直接行う方式へ変更。ホームページへの記事掲載の手続き窓口（ホームページ担当委員長）一元化の実施

- 2) 学会誌等の出版

- (1) 会誌「農業気象」：第 64 巻 2 号～第 64 巻 4 号
- (2) 会誌「生物と気象」：第 8 巻 (http://www.soc.nii.ac.jp/agrmet/Climate_Biosphere.html)

- 3) 日本農業気象学会賞の審査および授与
- 4) 日本農業気象学会永年功労会員の審査および表彰
- 5) 日本農学賞等の受賞候補者の推薦：日本農学賞に小林和彦理事・岡田益己理事を推薦，
日本農業工学会フェローに岸田恭允会員および泊 功会員を推薦
- 6) 支部大会等の推進（別項「支部活動報告」の通り）
- 7) 「研究部会」，「若手研究者の会」等の推進（別項「研究部会活動報告」の通り）
- 8) 特別委員会の開催（別項「特別委員会等の設置と活動」の通り）
- 9) 日本農学会，日本農業工学会，農業環境工学系学会連盟の活動を推進，日本学術会議関連の活動に協力，
学術会議ニュースの理事への配信
- 10) 日本地球惑星科学連合の活動に協力
- 11) 他学会・団体とのシンポジウム・会議の共催・協賛・後援等を推進
 - (1) 日本学術会議公開シンポジウム「農業環境工学における環境教育と人材育成」，「遺伝子組換え作物実験施設の環境構築」（2008年5月8日）を後援
 - (2) 生態工学会 2008年度年次大会（2008年6月19日～20日）を協賛
 - (3) 日本能率協会「アグロ・イノベーション2008」（2008年7月16日～18日）を協賛
 - (4) 日本流体力学会年会 2008（2008年9月4日～7日）を協賛
 - (5) フォーラム「今こそ語ろうパッシブ農業」（2008年10月17日）を農業施設学会と共催
 - (6) 国際ワークショップ「AsiaFlux Workshop 2008」（2008年11月17日～19日，ソウル）を協賛
 - (7) 国際ワークショップ「Biogenic Trace Gas Workshop in Japan」（2008年11月27日～28日）を協賛
- 12) 各種賞について会員へ推薦依頼，各種公募研究の案内
- 13) 学会の将来の活動方向と学会名について検討
- 14) 2009年全国大会の企画
- 15) Web版測器ガイドブックの改訂版の作成に向けた検討
- 16) 学会賞受賞者へ贈呈する記念品「みのり」の作り置きに関する検討および製作依頼。「みのり」製作者の
佐藤忠良氏への感謝状等贈呈の検討
- 17) その他，本学会の目的達成のための各種事業の推進

1.1.5 編集委員会活動報告

1) 編集委員会の開催

(第1回 2008年3月22日 海峡メッセ下関)

第2回 2008年6月5日 東京大学農学部

第3回 2008年9月5日 東京大学農学部

第4回 2008年11月28日 千葉大学園芸学部

2) 「農業気象」, 「生物と気象」の発行

「農業気象」64巻2~4号

研究論文17編(うち英文11編), 短報6編(うち英文5編), 総説1編(うち英文1編)

「生物と気象」8巻(電子化して学会ホームページ上で公開)

研究部会報告2件, 書評3件, 国際会議報告3件, 支部報告2件, 学会賞受賞講演要旨2件

3) J-Stage で公開

「農業気象」を <http://www.jstage.jst.go.jp/browse/agrmet/-char/ja/> で公開

なお, 64巻4号より, 希望者には早期公開を開始

4) J-Stage オンライン論文投稿システムの利用開始

2009年3月より, <http://ess.jstage.jst.go.jp/contrib/agrmet/initialsubmission/-char/ja> から, 論文原稿のオンライン投稿が可能となる

1.1.6 学会賞審査委員会報告

2008年9月1日締め切りで, 2008年度日本農業気象学会賞の受賞候補者を公募し, 正会員および編集委員会から推薦があった候補者を学会賞審査委員会で審査。2008年12月1日付で, 早川学会賞審査委員長より審査結果が報告され, 支部長, 評議員および理事の投票により, 2008年12月22日に下記の会員の受賞が決定した。

学術賞: 鮫島良次 会員 「大豆の気象生態反応のモデル化とそれを利用した生産管理支援情報の開発
および水稲・小麦への応用」

普及賞: 菅野洋光 会員 「やませ研究の業績とその普及にむけたウェブ情報発信システムの開発」

論文賞: 間野正美 会員 「オープンパス型渦相関法におけるCO₂フラックスのデータ精度ならびに品質評価に関する研究」

農業気象 63(2), 67-79 (2007), 農業気象 63(3), 125-138 (2007)

奨励賞: 石川大太郎 会員 「分光反射特性を利用した茶の生育・品質推定手法に関する研究」

農業気象 64(1), 25-32 (2008)

1.1.7 永年功労会員表彰審査委員会報告

2008年7月7日, 各支部に永年功労会員候補者の推薦を依頼した。2008年9月1日の締め切り日までに推薦は届けられなかった。この結果を基に, 井上永年功労会員表彰審査委員長より2008年10月5日に該当者なしとの審査結果が報告された。

1.1.8 特別委員会等の設置および活動

1) 学会の在り方委員会（委員長：大政謙次理事）

洞爺湖サミットが我が国で開かれる中、また、地球温暖化の影響評価と対策に関して農業気象への関心が高まる中での学会態勢作りに関し、下関の大会にて意見交換。学会名や学会誌名についての意見交換。

2) 企画講演委員会（委員長：沖 一雄理事）

2008年11月開催の日本農業気象学会シンポジウム・日本農業気象学会関東支部合同集会の企画・開催協力。

3) 広報・企業担当委員会（委員長：青木正敏副会長）

2008年4月25日に農業気象セミナー「センサネットワークを活用した農業・環境技術の新展開」を東京ビッグサイトで開催（講演6題、参加者25名）。学会入会者の増員について、平野理事を中心として対策等の検討を開始。

4) ホームページ担当委員会（委員長：渋谷俊夫理事）

学術誌・情報誌、大会・研究会情報、各種お知らせ等のホームページへの掲載。ホームページの管理業務を、外部委託する方式からホームページ担当委員会が直接行う方式へ変更。

1.1.9 関連学協会委員

日本農学会

評議員：蔵田憲次会長，運営委員：富士原和宏理事

日本農業工学会

理事：真木太一顧問（日本農業工学会会長），

代議員：佐瀬勘紀会員，長野敏英会員，国際代議員：羽生広道会員

農業環境工学系学会連盟

委員：蔵田憲次会長（連盟代表幹事），青木正敏副会長

地理関連学会連合

担当委員：山川修治会員

日本地球惑星科学連合

評議員：蔵田憲次会長，窓口委員：山川修治会員，教育問題委員：林陽生会員，国際委員：鳥谷均会員

1.1.10 支部活動報告

支部名	研究会・講演会・出版物	会員（2008年4月1日現在）
北海道支部	<ul style="list-style-type: none"> 支部大会（東北支部との合同大会 研究発表 18 件，シンポジウム「北日本の気候変動・温暖化と農業影響および今後の研究展望」，総会）：2008 年 11 月 25 日～26 日，函館市産学官交流プラザ（函館市），参加者約 50 名 「北海道の農業気象」第 60 号 	正会員：41 シルバー会員：0 学生会員：4 購読会員：9 合計：54
東北支部	<ul style="list-style-type: none"> 支部大会（北海道支部との合同大会 研究発表 18 件，シンポジウム「北日本の気候変動・温暖化と農業影響および今後の研究展望」，総会）：2008 年 11 月 25 日～26 日，函館市産学官交流プラザ（函館市），参加者約 50 名 「東北の農業気象」第 53 号 	正会員：45 シルバー会員：0 学生会員：1 購読会員：10 合計：56
関東支部	<ul style="list-style-type: none"> 支部大会（本部との共同開催，研究発表 16 件，シンポジウム「農業気象の将来像を探る－研究現場からの問題提起－」，総会）：2008 年 11 月 6～7 日，文部科学省研究交流センター（つくば市），参加者 66 名 「関東の農業気象」第 34 号 	正会員：241 シルバー会員：1 学生会員：23 購読会員：33 合計：298
北陸支部	<ul style="list-style-type: none"> 支部大会（研究発表 4 件，シンポジウム「農業気象研究とモデル化」，総会）：2008 年 11 月 18 日，新潟市立中央図書館（新潟市），参加者 13 名 「日本農業気象学会北陸支部会誌」第 33 号 	正会員：19 シルバー会員：0 学生会員：0 購読会員：6 合計：25
東海支部	<ul style="list-style-type: none"> 支部幹事会：2008 年 11 月 1 日，名城大学 支部大会（総会，研究発表 5 件）：2008 年 12 月 13 日，名城大学，参加者 16 名 「東海支部会誌」第 67 号 	正会員：42 シルバー会員：0 学生会員：3 購読会員：7 合計：52
近畿支部	<ul style="list-style-type: none"> 日本農業気象学会近畿支部大会（研究発表 7 件，シンポジウム「農業分野におけるエネルギー・バイオマスの有効利用」）：2008 年 12 月 6 日，大阪府立大学学術交流会館，参加者 41 名 「日本農業気象学会近畿支部大会講演論文集」第 1 号 	正会員：68 シルバー会員：1 学生会員：5 購読会員：15 合計：89
中国・四国支部	<ul style="list-style-type: none"> 支部大会（研究発表 37 件，シンポジウム「水稻および大豆における温暖化の影響と対策」（問題別研究会と共催），総会）：2008 年 12 月 4～5 日，福山市生涯学習プラザ，参加者 90 名 「中国・四国の農業気象」第 21 号 	正会員：72 シルバー会員：0 学生会員：8 購読会員：19 合計：99
九州支部	<ul style="list-style-type: none"> 支部大会（日本生物環境工学会九州支部と共催，研究発表 24 件，ポスター発表 12 件，特別講話 3 件，総会，および九州大学農業気象学教室 88 周年シンポジウム開催）：2008 年 11 月 21 日～11 月 22 日，九州大学国際交流センター会議室（福岡市），参加者 60 名 「九州の農業気象Ⅱ輯」17 号 	正会員：44 シルバー会員：1 学生会員：10 購読会員：22 合計：77

1.1.11 研究部会活動報告

部会名・部会長	事務局・幹事	研究会・講演会・出版物
リモートセンシング・GIS 研究部会 部会長：大政謙次 設立：2000年12月	〒113-8657 東京都文京区弥生 1-1-1 東京大学大学院農学生命科学研究科 清水 庸 Tel: 03-5841-8101, Fax: 03-5841-8175 E-mail: ayosh@mail.ecc.u-tokyo.ac.jp	農業環境工学関連学会 2009年合同大会でのオーガナ イズドセッションの企画
生態系プロセス研究部会 部会長：小林和彦 設立：2003年7月	〒305-8604 つくば市観音台 3-1-3 農業環境技術研究所大気環境研究領域 桑形恒男 Tel: 029-838-8202, Fax: 029-838-8211 Email: kuwa@affrc.go.jp	農業気象国際シンポジウム ISAM2009 (2009年3月26 ～27日, 福島県農業総合センター) における招待講演 の企画に協力
園芸工学研究部会 部会長：佐瀬勘紀 設立：2006年6月	〒271-8510 千葉県松戸市松戸 648 千葉大学大学院園芸学研究科 石神靖弘・彦坂晶子 Tel: 047-308-8843, Fax: 047-308-8843 E-mail: ishigami@faculty.chiba-u.jp	アグロイノベーション2008 (2008年7月16-18日) に おいて, 学会ブースでの出展を担当 ISHS Symposium on Light in Horticulture (2009年11月) の開催準備
センシング・モニタリング 技術研究部会 部会長：青木正敏 設立：2008年6月	〒136-0075 江東区新砂 1-7-5 東京都環境科学研究所調査研究科 横山 仁 Tel: 03-3699-1331, Fax: 03-3699-1345 E-mail: hitoshi_Yokoyama@member.metro.tokyo.jp	設立
若手研究者の会	〒305-8604 茨城県つくば市観音台 3-1-3 農業環境技術研究所大気環境研究領域 間野正美 Tel: 029-838-8239, Fax: 029-838-8211 e-mail: mmano@niaes.affrc.go.jp	メーリングリストを活用した情報交換や意見交換を中 心に活動

1.2 2008 年度一般会計決算報告（案）

1. 収入

科目	予算	決算額	備考
学会費	7,497,500	6,540,020	3/1～12/31の入金
正会員	5,363,500	4,423,000	532名(延べ人数)
シルバー会員	0	72,500	16名(〃)
学生会員	244,000	139,500	35名(〃)
購読会員	810,000	1,035,020	134件(〃)
賛助会員	1,080,000	870,000	29件(〃)
売上金	2,875,000	1,696,895	
養賢堂(含む書店)	550,000	314,400	64(3)まで
掲載料・別刷り	2,300,000	1,341,495	64(3)まで
バックナンバー	25,000	41,000	(要旨集・用語集含)
雑益費	510,000	1,221,205	
広告料	450,000	268,125	
利息	10,000	4,460	
その他	50,000	948,620	山口大会返却・山口大会より寄附+複写権利
前年度繰越金	1,475,229	1,475,229	
合計	12,357,729	10,933,349	
単年度合計	10,882,500	9,458,120	

- 収入の売上金、掲載料・別刷り、広告料は、前年度実績で予算を立てたが、64(4)分が次年度入金になったこともあり低めの決算となった。
- 山口大会より運営費返却分(500,000円)だけでなく寄付(400,000)をいただいた。
- 学会賞の賞牌は、佐藤忠良先生の事情により今年度限りの製作となるため、60万円分を予算計上したが、通常1基15万円のところ交渉により10基100万円となることから100万円を支出した。

※2008年度の単年度収入合計は約946万円であったが、山口大会の運営費返却・寄付を除くと、単年度収入規模は約850万円である。また、売上金、掲載料・別刷り、広告料を1年分に換算すると、60万円程度増加することから、実質単年度収入は910万程度と考えられる。

単年度収支

収入合計	9,458,120
支出合計	8,780,752
剰余金	677,368

3. 資産など

資産の部

		(12月末)
現金	会計理事預り分	18,358
普通預金	三井住友	2,167,353
〃	みずほ	3,877,751
〃	関東つくば	639,094
振替口座	ゆうちょ銀行	5,131,246
定期預金	三井住友	2,172,109
資産の部計		14,005,911

負債の部

未払金	養賢堂へ	3,853,314
負債の部計		3,853,314

農業気象64(3)、(4)の出版・編集、会計業務(2008年度分)等の費用で決算には反映されているが、請求・入金等会計手続きの関係で遅れて支払う額。養賢堂関係の費用は、例年、半期毎にまとめて支払っている。

2. 支出

科目	予算	決算額	備考
学会誌発行業務	6,910,000	4,904,279	農業気象64(1)-(4)
印刷・製本・別刷り費	5,500,000	3,662,789	
発送費	310,000	273,170	
編集費	1,100,000	968,320	養賢堂分(777,000)
総大会費	550,000	524,650	
大会運営費	500,000	500,000	山口大会運営費
大会事務費	50,000	24,650	アクトロイバージョン(アルホワイト、ホスター作成)
学会賞費	797,340	1,196,540	賞牌費、受賞者懇親会費 賞牌作り置き(10基、1,000,000)
永年功労賞費	24,000	29,400	ルーベ
会計業務委託費	1,608,000	1,455,970	2008/3/1～12/31
会員業務	900,000	848,020	会員単価@650×868
会計業務委託費	441,000	367,500	月額@35000×10
その他窓口業務	267,000	240,450	窓口業務(月額@20000×10)
理事会開催費	0	0	
庶務理事経費	58,000	56,393	
会計理事経費	80,000	44,060	(振込手数料・ファクシミリ手数料含)
支部補助費	346,000	340,000	単価500円×680会員(正+学)
部会・研究・渡航補助費	150,000	50,000	
リモートセンシング・GIS研究部会	0	0	
生態系プロセス研究部会	0	0	辞退
園芸工学研究部会	0	0	辞退
センシング・モニタリング技術研究部会	-	0	辞退
若手研究者の会補助費	50,000	50,000	
渡航費補助	100,000	0	
関連団体分担金	131,000	77,400	
農学会費	81,000	77,400	
農業工学会費	50,000	0	本年度請求無し
ホームページ作成外部委託	150,000	0	ホームページ担当委員会作成
会員名簿	120,000	102,060	
単年度支出	10,924,340	8,780,752	
予備費	1,433,389	0	
合計	12,357,729	8,780,752	

財産の部



学会基金	4,000,000
事業準備金	4,000,000
本年度収支差異	2,152,597
(前年度繰り越し1,475,229+単年度収支677,368)	
財産の部計	10,152,597

1.3 会計監査報告

平成 21 年 3 月 5 日

会計監査報告書

日本農業気象学会
会長 蔵田 憲次殿

日本農業気象学会
会計監査 寺添 齊 
長谷川利拡 

日本農業気象学会 2008 年度（2008 年 3 月 1 日～2008 年 12 月 31 日）会計監査を行った結果を報告する。朝倉利員会計理事により示された会計書類について、質疑応答を交えながら調査したところ、帳簿や証拠書類は正確に記載され、誤りなく出納されていることを確認した。以上をここに報告申し上げます。

会計監査におけるコメント

1. 支出削減の努力により学会会計は黒字となっているが、今後も会員数の減少が予測されることから、これまでどおり単年度でバランスのとれた予算計画を立てられるよう留意されたい。
2. 会費納入率向上のための方策を今後も検討して頂きたい。

1.4 2009-2010 年度役員選出状況

1) 選挙管理委員会の設置

荊木康臣理事を選挙管理委員長，鈴木賢士会員を委員とする選挙管理委員会を組織。

2) 次期役員等名簿（敬称略）

名誉会員 三原義秋，矢吹萬寿，羽生寿郎，久保祐雄，内嶋善兵衛，高倉 直

顧問 中山敬一，鈴木義則，古在豊樹，真木太一，清野 豁，栗原弘一

会長 岡田益己

副会長 青木正敏，大政謙次

支部長 北海道：浦野慎一，東北：皆川秀夫，関東：今 久，北陸：関 平和，東海：林 真紀夫，

近畿：北宅善昭，中・四国：田中丸重美，九州：北野雅治

理事（支部選出） 北海道：平野高司（総務正），東北：皆川秀夫，関東：蔵田憲次，小林和彦，後藤英司，

北陸：皆已幸也（ホームページ担当委員長），東海：田中逸夫，近畿：町村 尚（編集-論文審査正），

中・四国：菅谷 博（表彰），九州：小沢 聖

理事（会長指名） 星 岳彦（企画講演委員長），黒瀬義孝（編集-論文審査副），松岡延浩（編集-出版），

五十嵐大造（会計正），朝倉利員（会計副），大野宏之（庶務正），吉本真由美（庶務副・選挙

管理），富士原和宏（総務副）

評議員 北海道：谷 宏，廣田知良，東北：菅野洋光，鮫島良次，関東：宮田 明，大原源二，佐瀬勘紀，

鳥谷 均，林 陽生，長谷川利拡，本條 均，野内 勇，本條 毅，桑形恒男，北陸：横山宏太郎，

東海：高市益行，岡田邦彦，近畿：青野靖之，谷 誠，原菌芳信，中・四国：大上博基，荊木康臣，

鈴木晴雄，山本晴彦，九州：石黒悦爾，武政剛弘，脇山恭行

監査 寺添 斉，奥島里美

学会賞審査委員会 小林和彦（委員長），菅野洋光，北野雅治，北宅善昭，蔵田憲次，黒瀬義孝，後藤英司，

鮫島良次，野内 勇，早川誠而，林 真紀夫，平野高司，富士原和宏，本條 毅，皆川秀夫

永年功労会員表彰審査委員会 及川武久（委員長），干場信司，川方俊和，古在豊樹，林 陽生，小南靖弘，

林 真紀夫，原菌芳信，松村伸二，平木永二

編集委員会 北野雅治，黒瀬義孝，町村 尚，松岡延浩，鮫島良次，渡辺 力，小南靖弘，嶋津光鑑，

青野靖之，森 牧人，下町多佳志，井上 聡，奥島里美，金 元植，中野智子，西森基貴，間野正美，

米村正一郎，酒井英光，木村玲二，濱本 浩，濱寄孝弘

広報・企業担当委員会 青木正敏（委員長）

学会のあり方委員会 大政謙次（委員長）

ホームページ担当委員会 皆已幸也（委員長）

企画講演委員会 星 岳彦（委員長）

関連学協会役員（敬称略）

日本農学会 評議員：岡田益己，運営委員：富士原和宏

日本農業工学会 理事：真木太一，代議員：佐瀬勘紀，長野敏英，国際代議員：羽生広道

農業環境工学系学会連盟 委員：岡田益己，青木正敏

地理関連学会連合 担当委員：山川修治

日本地球惑星科学連合 学会長会議員：岡田益己，連絡員：鳥谷 均

2. 審議事項

2.1 2008年度剰余金処分（案）

- (1) 2008年度剰余金は、2,152,597円となった。
- (2) 2008年度の一般会計から学会基金へ1,000,000円を支出する。
- (3) 2008年度の一般会計から事業準備金へ1,000,000円を支出する。
- (4) この結果、学会基金は5,000,000円、事業準備金は5,000,000円、一般会計繰越金152,597円となる。

2008年度基本金会計

科目	予算	
学会基金	4,000,000	
事業準備金	4,000,000	
	8,000,000	

2009年度基本金会計

科目	予算	備考
学会基金	5,000,000	
事業準備金	5,000,000	
	10,000,000	

2.2 2009 年度事業計画（案）

- 1) 財政健全化，事務の簡素化などの推進
 - (1) 会員数維持のための方策の検討および実施
 - (2) 経費の一層の節減および収入増のための方策の検討および実施
 - (3) 会員サービスとしてのメーリングリストへのメールアドレス登録者数の増加のための方策の検討および実施。会員に有益な情報送信の高頻度化
- 2) 全国大会およびシンポジウムの開催

2009 年全国大会の開催：2009 年 3 月 25 日～27 日に郡山市民交流プラザおよび福島県農業総合センター（郡山市）にて開催

農業環境工学関連学会 2009 年合同大会の開催：農業機械学会，農業施設学会および生態工学会と合同で，2009 年 9 月 15 日～18 日に東京大学駒場キャンパスにて開催
- 3) 2009 年度総会の開催：2009 年 3 月 25 日に郡山市民交流プラザ（郡山市）にて開催
- 4) 2008 年度評議員会の開催：2009 年 3 月 25 日に郡山市民交流プラザ（郡山市）にて開催
- 5) 2009 年度理事会の開催：東京大学農学部，他
- 6) 会誌「農業気象」の発行（第 65 巻 1 号～第 65 巻 4 号）
- 7) 会誌「生物と気象」の発行，第 9 巻（電子化して HP 上に掲載）
- 8) 「農業気象」に掲載された論文記事の Journal@rchive における電子アーカイブ化
- 9) 日本農業気象学会賞の審査および授与
- 10) 日本農業気象学会永年功労会員の審査および表彰
- 11) 日本農学賞等の候補者の推薦
- 12) 支部活動の推進（別表「支部活動予定（案）」の通り）
- 13) 研究部会および若手研究者の会の活動の推進（別表「研究部会活動予定（案）」の通り）
- 14) 特別委員会の開催
- 15) 日本農学会の活動を推進
- 16) 日本農業工学会の活動を推進
- 17) 農業環境工学系学会連盟の活動を推進
- 18) 日本学術会議関連の活動に協力
- 19) 地理関連学会連合の活動に協力
- 20) 日本地球惑星科学連合の活動に参加
- 21) 他学会・団体とのシンポジウム・会議の共催・協賛・後援等を推進
- 22) 受託研究の受け入れ
- 23) 国際会議出席者の推薦，国際研究交流の推進
- 24) 学会の活動方向の検討
- 25) その他，本学会の目的達成のための各種事業の推進

支部活動予定（案）

支部名	研究会・講演会・出版物	会員（2009年1月1日現在）
北海道支部	<ul style="list-style-type: none"> 支部大会（研究発表，講演会，総会）：日時・場所未定 「北海道の農業気象」第61号発行予定 	正会員：36 シルバー会員：0 学生会員：3 購読会員：9 合計：48
東北支部	<ul style="list-style-type: none"> 支部大会（研究発表，総会）：日時未定，秋田県内（予定） 「東北の農業気象」第54号発行予定 	正会員：45 シルバー会員：1 学生会員：1 購読会員：10 合計：57
関東支部	<ul style="list-style-type: none"> 支部大会（研究発表，シンポジウム，総会）：日時・場所未定 「関東の農業気象」第35号発行予定 	正会員：230 シルバー会員：3 学生会員：22 購読会員：32 合計：287
北陸支部	<ul style="list-style-type: none"> 支部大会（研究発表，シンポジウム，総会）：2009年11月13日，会場未定（福井県） 「日本農業気象学会北陸支部会誌」第34号発行予定 	正会員：16 シルバー会員：0 学生会員：0 購読会員：6 合計：22
東海支部	<ul style="list-style-type: none"> 支部大会（研究発表，シンポジウム，総会）：2009年12月初旬，岐阜県担当 「東海支部会誌」第68号発行予定 	正会員：42 シルバー会員：1 学生会員：1 購読会員：7 合計：51
近畿支部	<ul style="list-style-type: none"> 支部大会，2009年12月（予定），和歌山県内（予定） 「日本農業気象学会近畿支部大会講演論文集」，第2号発行予定 	正会員：56 シルバー会員：4 学生会員：4 購読会員：15 合計：79
中国・四国支部	<ul style="list-style-type: none"> 支部大会（研究発表，総会）：2009年12月（予定），高知大学（南国市） 「中国・四国の農業気象」第22号発行予定 	正会員：68 シルバー会員：2 学生会員：6 購読会員：19 合計：95
九州支部	<ul style="list-style-type: none"> 支部大会（日本生物環境工学会九州支部と共催予定，研究発表，総会）：2009年11月28～29日，南九州大学宮崎キャンパス，シンポジウム等の内容は未定 「九州の農業気象Ⅱ輯」18号発行予定 	正会員：45 シルバー会員：3 学生会員：12 購読会員：22 合計：82

研究部会活動予定（案）

部会名・部会長	事務局・幹事	研究会・講演会・出版物
リモートセンシング・GIS 研究部会 部会長：大政謙次 設立：2000年12月	〒113-8657 東京都文京区弥生 1-1-1 東京大学大学院農学生命科学研究科 清水 庸 Tel: 03-5841-8101, Fax: 03-5841-8175 E-mail: ayosh@mail.ecc.u-tokyo.ac.jp	農業環境工学関連学会 2009年合同大会にて、オーガナ イズドセッション「生態系機能リモートセンシングとモ デリング」を開催予定
生態系プロセス研究部会 部会長：小林和彦 設立：2003年7月	〒305-8604 つくば市観音台 3-1-3 農業環境技術研究所大気環境研究領域 桑形恒男 Tel: 029-838-8202, Fax: 029-838-8211 Email: kuwa@affrc.go.jp	農業環境工学関連学会 2009年合同大会にて、研究会を 開催予定
園芸工学研究部会 部会長：佐瀬勘紀 設立：2006年6月	〒271-8510 千葉県松戸市松戸 648 千葉大学大学院園芸学研究科 石神靖弘・彦坂晶子 Tel: 047-308-8843, Fax: 047-308-8843 E-mail: ishigami@faculty.chiba-u.jp	2009年全国大会にて開催予定のミニ公開講座の企画・ 開催に協力 ISHS Symposium on Light in Horticulture（2009年11月） を開催予定
センシング・モニタリング 技術研究部会 部会長：青木正敏 設立：2008年6月	〒136-0075 江東区新砂 1-7-5 東京都環境科学研究所調査研究科 横山 仁 Tel: 03-3699-1331, Fax: 03-3699-1345 E-mail: hitoshi_Yokoyama@member.metro.tokyo.jp	2009年全国大会にて、オーガナイズドセッションを開催 予定
若手研究者の会	〒305-8604 茨城県つくば市観音台 3-1-3 農業環境技術研究所大気環境研究領域 間野正美 Tel: 029-838-8239, Fax: 029-838-8211 e-mail: mmano@niaes.affrc.go.jp	農業環境工学関連学会 2009年合同大会において、講演会 を開催予定 メーリングリストを通じて、情報・意見交換を行う

2.3 2009 年度一般会計予算（案）

1. 収入

科目	予算	備考
学会費	6,812,000	2009年1月で計算
正会員	4,624,000	¥8,500*544名
シルバー会員	70,000	¥5,000*14名
学生・ポスドク会員	204,000	¥4,000*51名
購読会員	984,000	¥8,000*123件
賛助会員	930,000	¥30,000*31件
売上金	2,240,000	
養賢堂(含む書店)	400,000	2008年度実績を1年に換算
掲載料・別刷り	1,800,000	2008年度実績を1年に換算
バックナンバー	40,000	
雑益費	334,000	
広告料	300,000	2008年度実績を1年に換算
利息	4,000	
その他	30,000	複写権料
前年度繰越金	152,597	
単年度合計	9,386,000	
合計	9,538,597	

印刷・製本・別刷り費、養賢堂編集費、会計業務委託費は、新規契約単価に64(3,4)の実績を2倍して積算。新規契約単価は、前年度に比べ編集関係で4割程度、会計関係で12万円減額。

2. 支出

科目	予算	備考
学会誌発行業務	3,900,000	農業気象65(1)-(4)
印刷・製本・別刷り費	2,600,000	新規契約単価と64(3,4)を基に計算
発送費	300,000	
編集費	1,000,000	養賢堂分70万(新規契約単価と64(3,4)を基に計算))
総大会費	800,000	
大会運営費	750,000	全国大会(25万)、合同大会(50万)運営費
大会事務費	50,000	
学会賞費	50,000	論文賞、奨励賞、受賞者懇親会費
会計業務委託費	922,000	
会員業務	520,000	会員管理(@560*850)、発送等手数料
会計業務	252,000	(会計業務、月額@20000*12)
窓口・その他業務	150,000	(窓口業務、月額@10000*12)
理事会開催費	200,000	
庶務理事経費	55,000	
会計理事経費	80,000	(振込手数料・ファクシミリ手数料含)
支部補助費	310,000	単価500円
部会・研究・渡航補助費	150,000	
リモートセンシング・GIS研究部会	0	
生態系プロセス研究部会	0	
園芸工学研究部会	0	辞退
センシング・モニタリング技術研究部会	0	辞退
若手研究者の会補助費	50,000	
渡航費補助	100,000	5万円×2名
関連団体分担金	130,000	
農学会費	80,000	
農業工学会費	50,000	
単年度支出	6,597,000	
予備費	2,941,597	予備費の内、学会費の遅滞分が80万円程度と想定。
合計	9,538,597	

2.4 日本農業気象学会会則改正（案）

2.4.1 ポスドク会員の導入，購読会員定義，および海外特別会員推薦方法に関する会則（第4章 会員）改正（案）

提案理由：ポスドクが，より積極的に学会活動に関われるよう会員種別を新たに設け，また，これまで定義が示されていなかった購読会員に定義を与え，さらに，外国在住の人材を広く海外特別会員として取り込むために，海外特別会員の推薦方法を変更しようとするものである。

現 行	改 正 案																
第4章 会 員	第4章 会 員																
<p>第8条（会員） この学会の会員は正会員，シルバー会員，<u>学生会員</u>，購読会員，賛助会員，海外特別会員および名誉会員とする。</p> <p>2. 正会員はこの学会の趣旨に賛同して入会する個人とする。 <u>満60歳以上</u>で，会則第11条に定める役員および第22条1に定める各委員会の委員に就任しない旨を学会に届け出た場合は，<u>シルバー会員</u>とする。 賛助会員はこの学会の事業を賛助する目的で入会する団体とする。 海外特別会員はこの学会の海外での普及促進を図るため，<u>編集委員会</u>が推薦し，理事会で認めた外国在住のものとする。 名誉会員は農業気象学の進歩に著しい貢献をした正会員およびシルバー会員のうち，理事会が推薦し，総会で承認されたものとする。</p> <p>3. 正会員，シルバー会員，<u>学生会員</u>，購読会員および賛助会員は下記に定めた会費（年額）を前納しなければならない。</p> <table style="margin-left: 40px;"> <tr> <td>正 会 員</td> <td style="text-align: right;">8,500 円</td> </tr> <tr> <td>シルバー会員</td> <td style="text-align: right;">5,000 円</td> </tr> <tr> <td><u>学生会員</u></td> <td style="text-align: right;">4,000 円</td> </tr> <tr> <td>購読会員</td> <td style="text-align: right;">8,000 円</td> </tr> </table> <p>賛助会員は1口30,000円を1口以上。</p> <p>4. 正会員，シルバー会員，<u>学生会員</u>，購読会員および名誉会員は外国在住の会員を除き，細則2に定めた区域ごとの支部のいずれかに所属するものとする。</p>	正 会 員	8,500 円	シルバー会員	5,000 円	<u>学生会員</u>	4,000 円	購読会員	8,000 円	<p>第8条（会員） この学会の会員は正会員，シルバー会員，<u>学生・ポスドク会員</u>，購読会員，賛助会員，海外特別会員および名誉会員とする。</p> <p>2. 正会員はこの学会の趣旨に賛同して入会する個人とする。 <u>シルバー会員は満60歳以上</u>で，会則第11条に定める役員および第22条1に定める各委員会の委員に就任しない旨を学会に届け出たものとする。 <u>学生・ポスドク会員は，大学等に在学中の学生，大学院生等，または国内在住の博士号を有する雇用契約1年以内の個人で，指導教員や雇用責任者の身分証明を受けたものとする。</u> <u>購読会員は学会誌の購読を目的として入会する団体，機関とする。</u> 賛助会員はこの学会の事業を賛助する目的で入会する団体とする。 海外特別会員はこの学会の海外での普及促進を図るため，<u>会員</u>が推薦し，理事会で認めた外国在住のものとする。 名誉会員は農業気象学の進歩に著しい貢献をした正会員およびシルバー会員のうち，理事会が推薦し，総会で承認されたものとする。</p> <p>3. 正会員，シルバー会員，<u>学生・ポスドク会員</u>，購読会員および賛助会員は下記に定めた会費（年額）を前納しなければならない。</p> <table style="margin-left: 40px;"> <tr> <td>正 会 員</td> <td style="text-align: right;">8,500 円</td> </tr> <tr> <td>シルバー会員</td> <td style="text-align: right;">5,000 円</td> </tr> <tr> <td><u>学生・ポスドク会員</u></td> <td style="text-align: right;">4,000 円</td> </tr> <tr> <td>購読会員</td> <td style="text-align: right;">8,000 円</td> </tr> </table> <p>賛助会員は1口30,000円を1口以上。</p> <p>4. 正会員，シルバー会員，<u>学生・ポスドク会員</u>，購読会員および名誉会員は外国在住の会員を除き，細則2に定めた区域ごとの支部のいずれかに所属するものとする。</p>	正 会 員	8,500 円	シルバー会員	5,000 円	<u>学生・ポスドク会員</u>	4,000 円	購読会員	8,000 円
正 会 員	8,500 円																
シルバー会員	5,000 円																
<u>学生会員</u>	4,000 円																
購読会員	8,000 円																
正 会 員	8,500 円																
シルバー会員	5,000 円																
<u>学生・ポスドク会員</u>	4,000 円																
購読会員	8,000 円																

2.4.2 ポスドク会員導入に伴う会則（第4章 会員 第10条）改正（案）

提案理由: 新たに導入するポスドク会員の特典を定義しようとするものである。

現 行	改正案
第4章 会員	第4章 会員
<p>第10条（特典）正会員、シルバー会員および<u>学生会員</u>は外国在住の会員を除き、次の特典がある。</p> <p>(1) 総会に出席してその議事に参加すること。</p> <p>(2) 研究会、講演会、談話会などに出席し、また研究発表並びに討論を行うこと。</p> <p>(3) 会誌の配布を受けること。</p> <p>(4) 会誌に投稿すること。</p> <p>(5) 日本農業気象学会賞の受賞候補者を推薦すること。</p> <p>(6) 日本農業気象学会賞の受賞候補者の推薦を受けること。</p> <p>(7) 会員名簿の配布を受けること。</p> <p>(8) 別に定めるところにより役員を選出すること。</p> <p>2. 外国在住の正会員、シルバー会員および<u>学生会員</u>は、前項(1)から(7)の特典を持っている。</p> <p>3. 購読会員は、会誌の配布を受ける。</p> <p>4. 名誉会員は、前項(1)から(4)および(7)の特典を持っている。</p> <p>5. 賛助会員の特典は細則1に定める。</p> <p>6. 海外特別会員は、前項(2)および(4)の特典を持っている。</p>	<p>第10条（特典）正会員、シルバー会員および<u>学生・ポスドク会員</u>は外国在住の会員を除き、次の特典がある。</p> <p>(1) 総会に出席してその議事に参加すること。</p> <p>(2) 研究会、講演会、談話会などに出席し、また研究発表並びに討論を行うこと。</p> <p>(3) 会誌の配布を受けること。</p> <p>(4) 会誌に投稿すること。</p> <p>(5) 日本農業気象学会賞の受賞候補者を推薦すること。</p> <p>(6) 日本農業気象学会賞の受賞候補者の推薦を受けること。</p> <p>(7) 会員名簿の配布を受けること。</p> <p>(8) 別に定めるところにより役員を選出すること。</p> <p>2. 外国在住の正会員、シルバー会員および<u>学生・ポスドク会員</u>は、前項(1)から(7)の特典を持っている。</p> <p>3. 購読会員は、会誌の配布を受ける。</p> <p>4. 名誉会員は、前項(1)から(4)および(7)の特典を持っている。</p> <p>5. 賛助会員の特典は細則1に定める。</p> <p>6. 海外特別会員は、前項(2)および(4)の特典を持っている。</p>

2.4.3 特別委員会委員長に関する会則（第8章 委員会 第22条）改正（案）

提案理由: 副会長も特別委員会の委員長に指名され得るようにしようとするものである。

現 行	改正案
第8章 委員会	第8章 委員会
<p>第22条（委員会）この学会に、編集委員会、学会賞審査委員会、永年功労者表彰審査委員会を設ける。委員の選出は別に定めるところによる。</p> <p>2. 会長は、学会活動の活性化、学会運営上の問題点の改善を図るため、随時、委員会（以下、特別委員会という）を設けることができる。会長は、理事会の議を経て、<u>特別委員会の委員長を理事の中から</u>、委員を会員の中から指名する。</p>	<p>第22条（委員会）この学会に、編集委員会、学会賞審査委員会、永年功労者表彰審査委員会を設ける。委員の選出は別に定めるところによる。</p> <p>2. 会長は、学会活動の活性化、学会運営上の問題点の改善を図るため、随時、委員会（以下、特別委員会という）を設けることができる。会長は、理事会の議を経て、<u>特別委員会の委員長を副会長または理事の中から</u>、委員を会員の中から指名する。</p>

2.4.4 施行期日に関する会則（第10章 付則 第27条）改正（案）

改正された会則の施行日を定めるものである。

現 行	改正案
<p style="text-align: center;">第10章 付 則</p> <p>第27条（施行期日）この会則は平成20年3月21日から施行する。</p>	<p style="text-align: center;">第10章 付 則</p> <p>第27条（施行期日）この会則は平成21年3月25日から施行する。</p>